

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責:辻谷太・加藤宏樹

vol. 06

2023. 1. 16

1月19日、令和4年度近畿地方災害医療訓練の一環で、当院の災害訓練を実施しました。今回の訓練は奈良市、生駒市で震度6強の地震が起きたという想定でした。震度6強の地震がおきると、電気や水道、ガスが止まってしまいます。そのような中でも、病院としての機能を維持し入院患者さんの安全確保を行い、できる限り多くの傷病者を受けられるようにこのような訓練を定期的に行っていく必要があります。

訓練では、病院全体の方針を決定する「災害対策本部」を会議室に設置し、電話が使用できない中で、外来や病棟の被害状況や、職員の被災状況などの情報を集約する訓練や、2階の正面受付には「トリアージエリア」を設置し地域から多数の傷病者の受け入れを行う訓練を行いました。

主な訓練内容

災害発生

- ①災害対策本部を立ち上げ
- ②外来や病棟それぞれの被害状況を本部へ伝達
- ③職員の被災状況等の情報を本部へ伝達
- ④地域の傷病者の受け入れ対応

災害時には、被害情報を正確に把握することが非常に重要です！
当院では、休みの職員やその家族がどのような被害を受けたのか、出勤できるか、出勤にかかる時間などをそれぞれの部署毎の方法で情報が共有できるように日頃から備えています。

災害対策本部

災害対策本部の役割は、病院や地域の災害による被害の情報収集を行い、病院の方針を決定することです。災害時には、もしもに備え全員で病院外へ避難する可能性を頭にいれながら、できる限り多くの傷病者の受け入れができるように、病院全体の司令塔として活動します。

災害対策本部のみんなで被害の状況を共有している様子です。それぞれの役割がわかるようにゼッケンをつけています。



時刻	発	受
12:05		
12:10		トリアージ設置開始 DMAT到着(京都中野総合医療センター)
12:15	院長	全館放送 (職員被災状況報告書と搬送の依頼)
12:20		DMAT(京都中野総合医療センター)が指揮所開設 DMAT(京都第一中野HP)到着 空床(35) CMC(5) ICU(2) ←空ベッド
12:25		トリアージ設置完了
12:25		OPEは空室問題の不明不可 出機鏡は使用不可(中央配管は9x) HR室は使用不可。CHDFは可能 XPポータル対応可能 現地の院内状況確認
12:31		全館放送(11の状況は検査の状況を確認) (呼吸器はICUに確保)

いつ、どんなことが起こったのか、時系列で記録をしています。記録は、情報をみんなで共有することや、どのように対応したのかを振り返るのに非常に大切です。

普段院内で使っているPHSが使用できないことに備えて、トランシーバーを使用しました。トランシーバーは片方が話をしているともう一方は聞くしかできない、PHSやスマホと比べて音質が悪いという問題がありますが、電気がとまった時にも使用できるといったメリットがあります。実際に使ってみると案外難しく、細かな音が想像以上に聞き取りにくいといったことが分かりました。災害に備えて、いろいろな物を用意されている方もいらっしゃると思いますが、いざという時に「使える」ように備えておきましょう。



多数傷病者受け入れ訓練（トリアージエリア）

災害時には、できる限り多くの傷病者の治療を行うため、優先順位を決めるトリアージを行います。大規模な災害では、通常では考えられないくらい多数の患者さんが来院されます。そのため、当院では2階正面玄関にトリアージエリアを設営し災害対応を行います。下の写真のように普段とはレイアウトを変更し、ベッドや医療器材を持ち込んで訓練を行いました。

傷病者が次々と到着し、専門的な災害研修を受けた医療スタッフがトリアージを実施します。



トリアージが行われた傷病者が次々に運ばれ、処置が行われています。



3隊のDMAT（災害医療派遣チーム）が当院へ応援にきてくれました。

- ・京都第一赤十字病院DMAT
- ・京都中部総合医療センターDMAT
- ・滋賀医科大学医学部附属病院DMAT

災害時にはこのように、DMATなどさまざまな支援の方々の協力を得て、災害対応を行います。



この訓練には72人が参加しました。今回の訓練を今後の災害対策へつなげるため、訓練終了後に参加者全員でミーティングを行いました。



できる限り多くの傷病者を受け入れられるよう、大部屋のベッド増床、ICU・救命救急センターの患者さまを病棟へ移動、軽症な方の退院時期の調整を行いますので、ご協力お願いいたします。

今回の災害訓練で得た教訓を生かし、災害に強い病院を目指していきます。みなさまご協力おねがいします！

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
(患者さまの声は、2階MACHIcafe右横の電話コーナー、各デイルームに設置しています。)